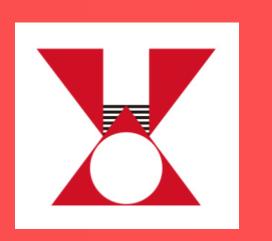
訂正難易度を考慮した文法誤り訂正のための性能評価尺度

五藤 巧†, 永田 亮†‡, 三田雅人‡, 塙 一晃‡ † 甲南大学 * 理研





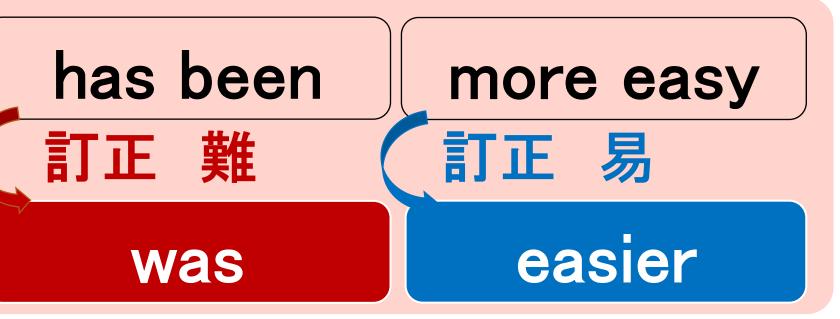
(1.目的



学習者の英文: It

訂正後の英文: It

It



訂正難易度が異なる 問題が混在している!

訂正の難しさを考慮した 評価尺度が欲しい!!

~2.基本アイデア

訂正成功率を元に訂正難易度(w)を定義: w=1 一 訂正成功率

easier

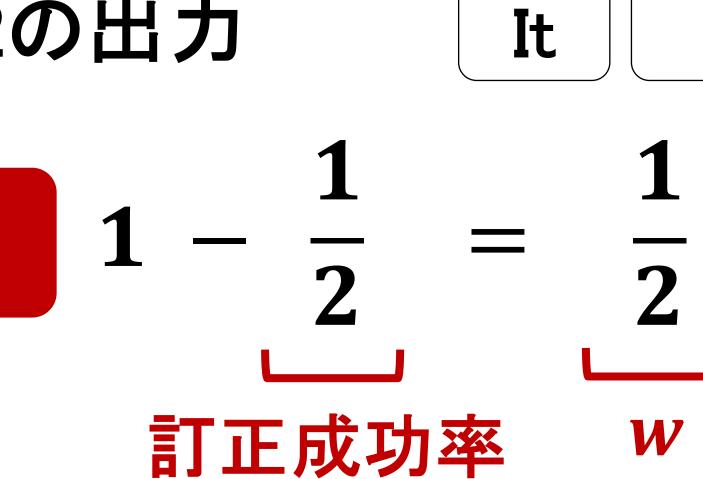
例:2システムの場合

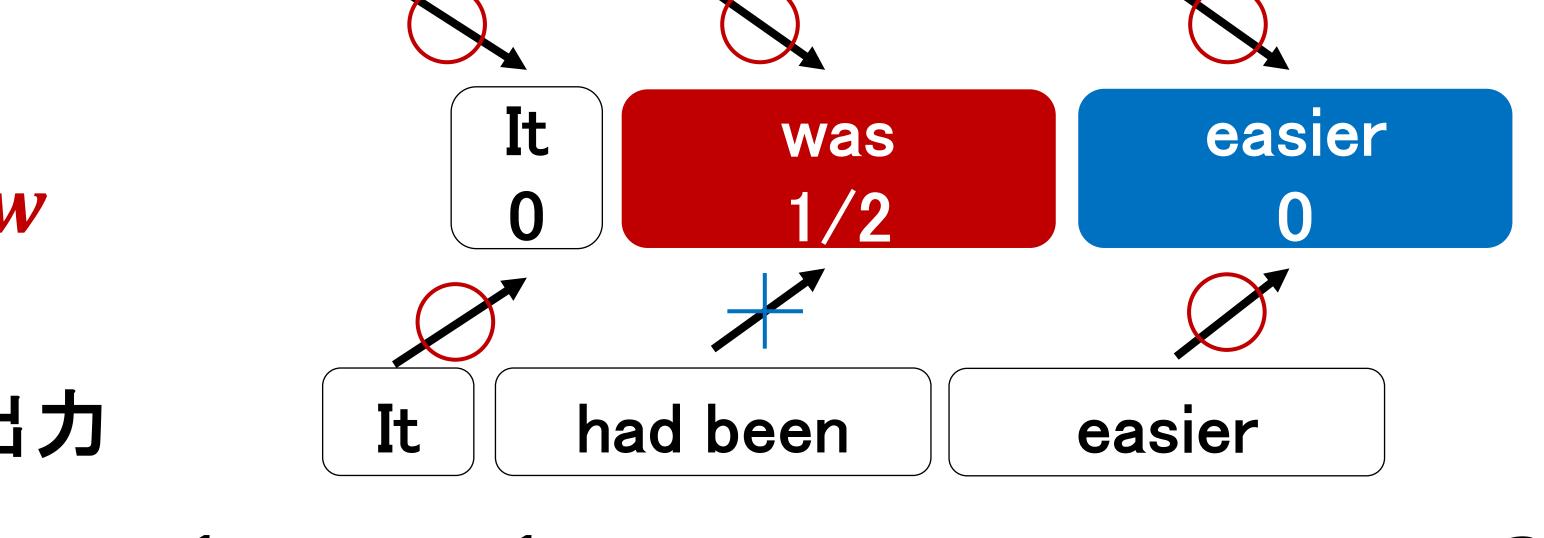
システム1の出力

正解文 訂正難易度w

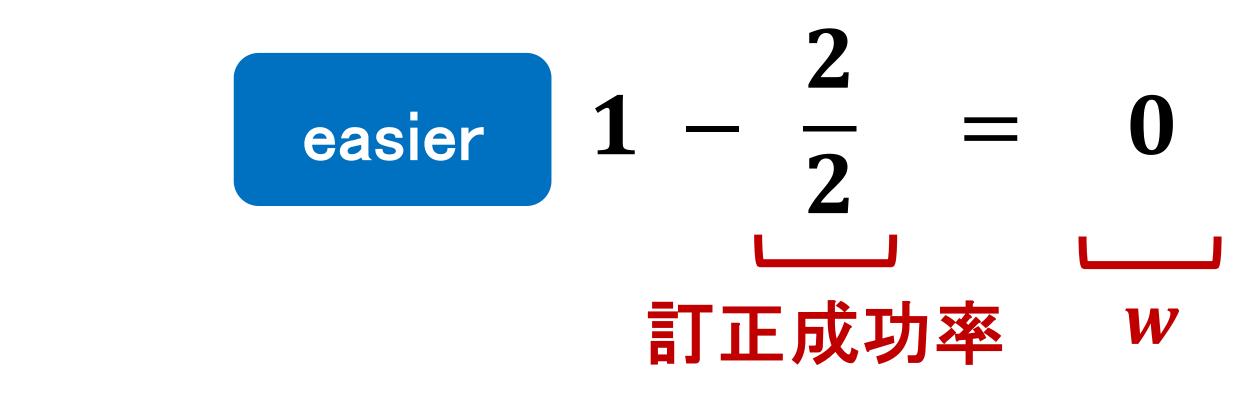
システム2の出力

was





was



~ 3.提案評価尺度

重み付き
$$= \frac{\sum_{i \in E} w_i l_i}{\sum_{i \in E} w_i}$$

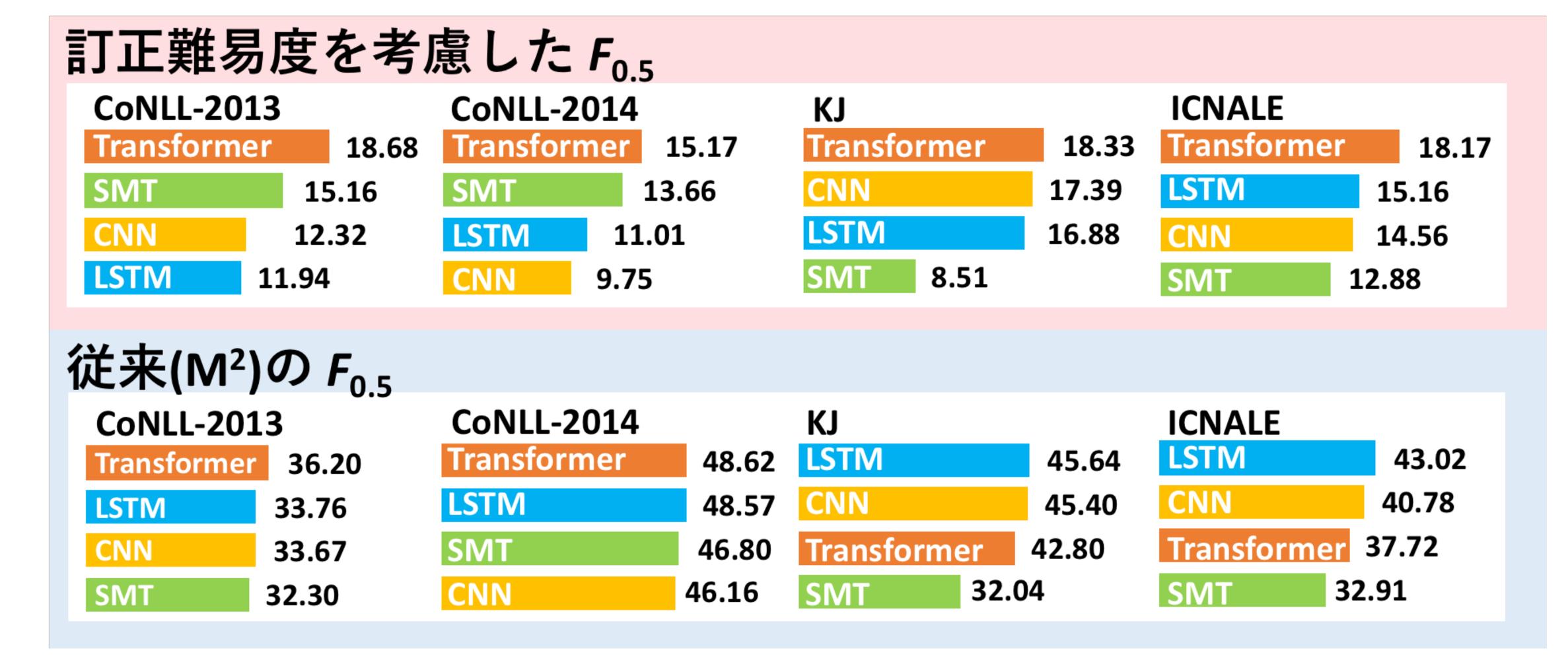
l = 1(訂正に成功) or 0(失敗)

E = 全誤りの集合

C=訂正箇所の集合

4.実験結果と考察

複数システムによるコーパス横断評価





This had caused panic among the people who had flooded the local police department with ... Personally I am study in oversea, busy study life keeps me away from contact my old friend. (ともにCoNLL-2014より一部抜粋)

誤りの種類別の訂止難易度の例			
	易しい		難しい
	誤りの種類	平均w	標準偏差
	形容詞	0.982	0.074
	動詞	0.891	0.254
	時制	0.876	0.213
	冠詞	0.747	0.292
	動詞の活用	0.590	0.393
	名詞の数	0.539	0.340
	綴り誤り	0.533	0.342

- ・訂正難易度を考慮した性能評価尺度を提案
- 得られた訂正難易度は直感に一致
- ・システム間の差が明確に,順位が安定 (本研究にかかるツールを公開)

